

## 「京王電鉄京王線（つつじヶ丘駅・柴崎駅付近） 開かずの踏切解消の取組を推進する決議」 を満場一致で可決

12月18日の第4回定例会において、「京王電鉄京王線（つつじヶ丘駅・柴崎駅付近）開かずの踏切解消の取組を推進する決議」を全会派により議員提出議案として提出し、満場一致で可決しました。  
決議の全文（原文）は次のとおりです。

### 京王電鉄京王線（つつじヶ丘駅・柴崎駅付近） 開かずの踏切解消の取組を推進する決議

昭和44年に都市計画決定された都市高速鉄道第10号線は、東京都施行の連続立体交差事業により、調布駅付近では18か所の踏切解消が実現し、笹塚駅から仙川駅間については25か所の踏切解消に向けて事業が進められている。

取り残されたつつじヶ丘駅及び柴崎駅付近の5か所の踏切は、全てピーク時1時間当たりの遮断時間が40分以上のいわゆる「開かずの踏切」で、ボトルネックとなっている清水架道橋などで多くの人々の通行を妨げ、地域分断を生じさせるなど、市民生活と地域経済に多大な損失を与え続けている。

東京都は、「踏切対策基本方針（平成16年6月）」において、これらの踏切を含む区間（以下、「当該区間」という。）は「鉄道立体化以外の対策の検討対象区間」として選定したが、この方針が策定されてから約20年が経過した現在も、踏切解消の見通しは立っておらず、地域発展の阻害要因となっていると言わざるを得ない。

こうした中で、令和3年4月、当該区間の5か所の踏切は、踏切道改良促進法に基づく「改良すべき踏切道」として国土交通大臣により指定され、調布市は、令和7年度末までに「地方踏切道改良計画」を作成し、国土交通大臣へ提出することとなっている。

このため、調布市においては、市が主体となって連続立体交差事業調査を実施するとともに、学識経験者、鉄道事業者、調布市のほか、オプザバーの国及び東京都による検討会を設置し、開かずの踏切解消の検討が進められている。

この検討会において、当該区間の抜本的な踏切対策については、関係者間合意の下、連続立体交差事業が望ましいとの方向が中間報告で示されている。

また、「踏切対策基本方針」については、2025年度（令和7年度）に目標期限を迎えることから、東京都からは現行の基本方針を改定していくことが公表された。

こうした状況を踏まえ、調布市議会は、市民の生活と交通の安全確保はもとより、防災性向上、地域の交流や活性化などまちの発展のため、開かずの踏切解消に向けて連続立体交差事業を実現できるよう取組を推進するとともに、その実現に向けて関係機関である国、東京都及び鉄道事業者に対して、地域の実情を踏まえた早期の対応を図るよう強く求める。

以上、決議する。

令和6年12月18日

調布市議会



## 歳入確保・経費削減を優先した 市民サービス抑制はやめるべき

岸本 直子（日本共産党）



**問** 予算編成方針で歳入確保と経費削減に全庁一丸で取り組むと繰り返し強調。無駄を省くのは大事だが、各部課の取組だけでなく、税金の使い方全体を見たと上で不要不急の事業や経済影響を受けている事業を根本から見直すべき。郵便局の証明事務終了、児童手当からの保育料や学童クラブ育成料滞納分徴収は見直しを。市民生活や市民サービスへの影響についての考えは、**市長** 質の高い市民サービスの持続的な提供のため、効果的・効率的な行政運営の観点踏まえた事業の精査・検証が必要。市民の暮らしの安全を守ること

が市の責務であることを念頭に今後必要な見直しに取り組む。**問** 神代出張所が仮移転するが、神代出張所の今後の方針は、**副市長** 行革プラン2023で機能移転及び跡地活用検討を位置づけ在り方検討とともに、つつじヶ丘駅周辺のまちづくりの動向踏まえ引き続き多角的な検討が必要。**問** 外環道工事による陥没事故から4年。市民の不安は解消されていない。①地盤補修工事の現状は②地域住民の転居は進んでいるが住民との三者協議は続けるべき③地域の防犯対策強化を④入間川の気泡漏出の現状と原因究明、住民への丁寧な情報



地盤補修工事の現場

提供を事業者に求めよ。**外・交部長** ①6年11月末時点で補修範囲の仮移転、買取りは約9割契約済。約7割の家屋が解体され、約3割の地盤補修完了②4年経過し住民の要望も変化状況踏まえ対応検討③市、警察によるパトロール強化や事業者がチラシ配布し注意喚起④気体調査等で環境に影響ないと確認。市は気泡発生状況を事業者HPで公表を強く求め、11月に掲載

## 調布飛行場等対策 特別委員会の審査状況

### 特別委員会の審査状況

6年12月19日に開催しました。初めに、環境部より、都から市へ意見照会のあった多摩川・荒川等流域別下水道整備総合計画改定案について、調布基地跡地内の（仮）野川水再生センター計画廃止等、改定案の概要及び意見照会への市の対応について報告を受けました。



審査の様子

報告に対し委員からは、大島空港整備による自家用機分散移転の見込みや、外部監査による指摘事項、調布飛行場整備検討会等について質疑、意見がありました。

「市民に分かりやすく開かれた議会」を目指す取組の一つとして、6年11月9日に議会報告会を文化会館たづくりで開催し、28人に御参加いただきました。井上議長が5年度一般会計決算の概要を報告後、常任委員会の各委員長等から9月議会での決算審査の結果等を報告しました。

## 第19回議会報告会を 開催しました

～5年度決算審査の報告と所管に分かれて広聴～

- 市民に分かりやすく開かれた議会」を目指す取組の一つとして、6年11月9日に議会報告会を文化会館たづくりで開催し、28人に御参加いただきました。井上議長が5年度一般会計決算の概要を報告後、常任委員会の各委員長等から9月議会での決算審査の結果等を報告しました。
- \* \* \* \* \*
- 各常任委員会の主な報告事項は、次のとおりです。
- 総務委員会（神原登志子委員長）  
・ 歳入確保の検討と魅力あるまちづくりの推進について
- 都市計画道路の整備について
- 女性職員活躍の推進について
- 文教委員会（須山妙子委員長）  
・ キャッシュレス決済促進事業費について
- 体育施設管理費について
- 楽器寄附事業について
- 厚生委員会（阿部草太委員長）  
・ 調布市手話言語条例について
- ・ 病児・病後児保育について
- ・ 総合福祉センターについて
- ・ 高齢者福祉について
- 建設委員会（清水仁恵副委員長）  
・ ゼロカーボンシティについて
- ・ ごみ対策について
- ・ 住宅等の耐震化促進について
- ・ 駐輪場対策について
- \* \* \* \* \*
- 後半は4つの常任委員会と議会全般の5つのテーブルに分かれて御意見を伺いました。

### 古川実行委員長から 市民の皆様へ

当日はお忙しい中、多くの方に御参加いただき、たくさんのお声をいただいたことに感謝申し上げます。今後も身近で親しみある市議会となるよう議員一同全力で取り組んでまいります。

### 参加者から御意見等 のあったテーマ

- 予算書等のデータ化の状況
- 行政のデジタル化やDX推進
- 災害時の市のシステム
- グリーンホールの建て替え



当日の様子

### 凡例

- 行経部長…行政経営部長 行経参事…行政経営部参事 危管部長…危機管理担当部長 生文部長…生活文化スポーツ部長 産業部長…産業振興担当部長
- 子生部長…子ども生活部長 子生参事…子ども生活部参事 福祉部長…福祉健康部長 福祉参事…福祉健康部参事 都整部長…都市整備部長
- 外・交部長…外環・交通担当部長 選管局長…選挙管理委員会事務局長 監査局長…監査事務局長